

公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 部分公開 ☐ 非公開
----------	--

※「5 議題、内容及び結果」における記号の説明
「○」…委員の発言
「◎」…委員の質問に対する事務局の回答

第6回「西部清掃工場更新」における

浜松市 PFI 等審査委員会会議録

- 1 開催日時 令和6年1月30日 14時00分から15時00分
- 2 開催場所 浜松市役所本館8階 第5委員会室
- 3 出席状況

出席委員 山口 直也 教授（青山学院大学大学院）
荒井 喜久雄 技術指導部長（（社）全国都市清掃会議）
佐古 猛 特任教授（静岡大学創造科学技術大学院）
高平 めぐみ 弁護士（静岡県弁護士会）
花嶋 温子 准教授（大阪産業大学）
石切山 真孝 部長（財務部）
袴田 智久 本部長（カーボンニュートラル推進本部）
山田 英二 部長（環境部）

事務局 （環境部廃棄物処理課）
平口課長、河野専門監（課長補佐）、徳田副主幹
松下主任、横井、岡田

アドバイザー （パシフィックコンサルタンツ株式会社）
長谷川、篠木、森

- 4 傍聴者 非公開の為、0人

5 議題、内容及び結果

議題1 実施方針（案）の公表について

（意見）

なし

（質疑応答）

○資源化の事業範囲をどのように想定しているか、また不可抗力における「一定程度までは事業者が負担」とはどのようなものを想定しているか？

◎運搬・資源化業務を事業者の事業範囲とすることを想定している。また、不可抗力における事業者負担の範囲については検討中であり、第7回委員会資料とする特定事業契約書の中でお示しする想定である。

議題2 入札説明書について

(意見)

○地元活用計画のモニタリングについて、発注予定先が変更された場合、減額対象とするか否かは場合分けして検討を行うこと。

(質疑応答)

なし

議題3 落札者選定基準について

(意見)

○「周辺住民や市民に対する情報提供方法」は、施設の運転管理に関する情報であることがわかるように表現を変更した方がよい。

○「運転管理や人員配置の先進的な工夫」は従来の方式も含めた提案が可能となるように表現を変更した方がよい。

○「低炭素」は市の方針に合わせて「脱炭素」とした方がよい。

○二酸化炭素排出量の算出においては、遠隔監視システムにかかる外部の電力使用量の計上を検討して欲しい。

○「市のモニタリングに対する工夫」は支援に対する提案であることがわかるように表現を変更した方がよい。

○自然エネルギーの活用について、導入システムが限定されること、風力発電の導入が不明確であることを考慮し、例を削除する方がよい。

○県営野球場をはじめとした様々な施設整備が予定されるため、「周辺地域への余熱供給の配慮」を審査項目に追加することを検討して欲しい。

○蒸気の供給先を広げすぎない方が低炭素に資するという考えもあるため、PRの意味での他の方法も含め、検討する必要がある。

○景観は経済性も考慮したものとなるような表現に変更した方がよい。

○地元資材を外観や内装の見える場所に使用することを審査項目に追加するか検討して欲しい。

○「社会情勢の変更」や「来場者へのフィードバックへの対応」の意図する部分がわかりにくいため、表現を変更した方がよい。

○建設費・運営費は価格点での評価となるため、審査項目から削除した方がよい。

○事業実施体制は運営時だけでなく、建設時も評価できる表現に変更した方がよい。

(質疑応答)

○事務局案では合議方式を推奨するとのことだが、審議にあたり、事務局が採点案を提示することを想定しているのか、それとも各委員が仮採点を行うことを想定しているのか？

◎後者を想定している。各委員の仮採点を踏まえたうえで、合議により、評価の擦り合せを行っていただくことを想定している。

○価格の点数化方法について、事務局として「予定価格・定量限度額比方式」が望ましいと考える理由は何か？

◎「予定価格・定量限度額比方式」が望ましい理由として、最も低い価格を入札した事業者の価格に左右されず絶対評価が可能となること、「最低価格比方式」と比較し価格により点数差が開きやすいことが挙げられる。

- 6 会議資料の名称 審査委員名簿
実施方針（概要版）
入札説明書（案）
モニタリング実施計画説明書
審査の進め方について（案）
落札者選定基準（案）

7 発言内容記録方法 文字 / 録画 / 録音

8 会議録署名人 山口 直也
袴田 智久